



# よい子 つよい子 できる子



妙高市立新井小学校 学校たより 5月号 令和8年5月25日



## 自ら考え 行動できる子 2

校長 青木 弘明

ゴールデンウイーク明けの5月7日(木) YTD (全校集会) 時の校長の話をお話を以下紹介します。

\*\*\*\*\*

今年の重点目標「自ら考え 行動できる子」についてお話しします(プレゼン画面あり)。

昨年の夏休み前(7月)1年生(今の2年生)が校長室に来て、羊を飼いたいですと話をしに来ました。住む場所は?餌は何をあげるの?土曜日や日曜日のお世話はどうするの?質問しましたが、1年生がしっかりと考えているので許可しました。そして、羊を向かい入れ、名前を考え、昼休みなどのお世話にして、散歩をさせて、お勉強でも一緒に活動しました。そして、秋「めーくん」との楽しかった思い出を胸に、別れを惜しんでいました。2年生の皆は、まさに自分達で考え・自分達で行動することができました。「めーくん」との楽しかった思い出は、今も2年生の心の中に残っていると思います。

このような体験を、座学と言われる「国語・算数・理科・社会」といったお勉強でもできないかなと先生は考えています。昨年先生が見た、石川県加賀市立庄(しょう)小学校や動橋(いぶりはし)小学校では、皆が一斉の事をするのではなく、階段の踊り場で勉強していたり、廊下のスペースで勉強していたり、実物のあるコーナーで勉強していたり、図書館のテーブルで各々が勉強していたり、勿論教室で勉強している人もいました。タブレットを使う人、プリントに書き込む人、映像を見る人、実物で実験する人もいて、基本は一人学習、でも必要に応じて仲間と協働する人もいました。自分で勉強スタイルを考え・自分で学習しています。自ら考え・行動しています。

先生は算数が好きな教科なので、タブレットの中に算数の教科書を入れて、もうドリルは入っているので、それを使って皆さんが自由に算数のお勉強ができないかなと考えています。

今、「自由」と言いましたが、自由と聞くと自分の好き勝手にやる・やりたく無かったらやらなくてもいいという風に思う人もいますが、本当の意味での「自由」は、身勝手な振る舞い(わがまま)ではなく、他者からの強制(〇ページを開きましょう…とか)や拘束(教室の自分の席でやります…とか)は受けないけれど、自分の意志(目標を達成しようとする強い気持ち)や理性(欲望に流されないで、正しく判断・思考する)に基づいて行動して、自己責任(自分の責任・先生の教え方が下手とは言われない)をもつことです。ですから、自由に勉強するということは、自分でやり方を考えて学習を進め、終わったらテストで100点(90~80点)をとれるように内容を理解するということです。

妙高市が行っているイェナプラン教育は「自立」と「共生」を目指しています。「自立」は自分で立てた規範(ルール)に従って行動し、自分を律する(コントロールする)ことです。「共生」は、多様な存在(みななちがって、みんないい)があって、それぞれのやり方が認められているけれど、目的が同じ時には一緒に力を合わせて頑張ることができる、そんな一人ひとりが支え合う学校のことです。

勉強での仲間は、普段の生活でのなかよしグループではなく、目的を同じにした仲間です。自分一人のできるのであれば、別に仲間を組む必要は無いのです。

さあ、全校の皆さん、今年は先生方と一緒に「自ら考え 行動する」学習を行ってみませんか？

\*\*\*\*\*

先日は、2年生の苗植えに、たくさんの保護者ボランティアの方からご支援いただきました。今月末には運動会も予定されています。今後とも、新井小学校の教育活動に対して、ご支援・ご協力の程よろしく願いいたします。

## あいさつ運動で広がる笑顔

5月20日（水）と21日（木）の朝、生活安全委員会の5・6年生による「あいさつ運動」が行われました。児童玄関の外では、委員会の子どもたちが登校してくる友達一人一人に「おはようございます！」と元気よく声を掛け、朝からさわやかなあいさつが響いていました。あいさつを交わすことで、自然と笑顔が広がり、温かな雰囲気の中で一日をスタートすることができました。高学年の進んで取り組む姿は、下級生のお手本にもなっています。これからも、気持ちのよいあいさつを通して、明るく安心できる学校づくりを進めていきます。



## 「自分で学ぶ力」や「情報を活用する力」を育むために

今年度も、児童一人一人の学びをより豊かにするため、学習用タブレット端末（iPad）の活用を進めています。授業では、調べ学習や考えの共有、写真や動画を使った記録など、さまざまな場面で活用し、子どもたちの「自分で学ぶ力」や「情報を活用する力」を育てています。

一方で、インターネットの使い方や情報モラル、安全な利用について学ぶことも大切です。学校では、発達段階に応じて、正しい使い方や相手を思いやる心について指導を行っています。ご家庭でも、利用時間を守ることや、学習に関係のない使い方をしないこと、保管場所を家族の目の届くところなど、声掛けと見守りをお願いいたします。

iPadは、子どもたちの学びを支える大切な道具です。便利さだけでなく、ルールやマナーを守りながら活用することで、安心・安全な学習環境につながります。学校と家庭が連携し、子どもたちが正しく活用する力を身に付けられるよう、今後も取り組んでまいります。



### 学校からの連絡

- ・ご家庭からの児童の欠席連絡は、連絡通信アプリ「teturu」にてお願いいたします。
- ・学校の電話は、平日の夜間 19:00～翌朝 7:30 まで、休日は留守番電話対応となります。